



6月27日発行

URL: <https://www.y-nakamura.jp/>

TEL 083-922-0418 文責 鶴永幸彦

▶ 教師は授業で勝負「研究授業」

生徒たちは1日6時間ないし7時間の授業を受けています。つまり学校生活の大部分は授業と言うことになります。その授業が「分かる、できる、楽しい」ものであれば、学校生活がより充実したものになることでしょう。

本校では、計画的に研究授業をしてその後研究協議会を実施して授業改善を図っています。授業者は詳細な指導案を作成するとともに、板書計画、スライドやワークシートの作成と日頃の授業以上に綿密な準備をして授業に臨みます。

教科の専門性もありますが、授業を行う上で共通に学べることとして、進め方、板書、発問、グループワーク、ワークシートやスライドの作成などがあり、多くのことが参考になります。

「まなぶ」は、「まねる」が「まねぶ」になり最終的に「まなぶ」になったとも言われます。自ら育つ、相互に学び高め合える教師集団でありたいと思います。



▶ 授業力向上に向けた互見授業



本校では、授業力向上を目的として、毎年1か月の期間を設定して、お互いの授業を見合って自分の授業改善に役立てる「互見授業月間」を設定しています。この期間には、だれでも見たい人の授業を見ることができ、発問、ICTの活用、自作のワークシート、グループワーク、褒め方、指名、机間指導の仕方など様々な視点からその人の良さを見取り、今後の自分の授業に役立てていきます。また、参観した教員は、自由記述を含む所定の感想メモを記入して、授業者に手渡します。そうすることで、授業者にも自分の授業の良いところや改善すべき課題が把握できてメリットがあります。

これからも同僚性を大事にしながら、お互いが授業改善に向けて切磋琢磨していけるようでありたいと思います。

裏面に続く

7月 主な行事

梅雨真っ只中で蒸し暑い日々が続いており、期末テストも大詰めを迎える中、早く梅雨明けしてほしいものです。さて、7月は、和名で「文月（ふみづき）」と呼ばれます。「文月」の由来には諸説あるようですが、その中に七夕に書物を風にさらす風習を意味する「文披月（ふみひろげづき）」からきたという説があります。本校では、七夕に合わせて読書週間を設定しています。スマートホンが普及して、読書離れが加速化していると言われますが、読書は心の栄養として様々な効果があり、ご家庭でもお薦めの1冊を紹介される等読書を奨励してください。

日	曜	内 容
1	火	期末考査④
2	水	期末考査⑤（13科目以上のクラス）
7	月	読書週間（～11）
18	金	終業式
19	土	第1回オープンスクール

日	曜	内 容
22	火	保護者会・夏季課外前半
23	水	保護者会
24	木	保護者会
28	月	学習相談日（～8/1）

2名の教育実習生が来校しました。



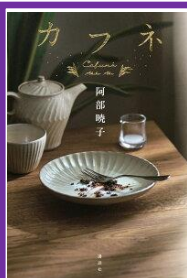
6月に2名の教育実習生を迎えました。

一人は東京にある文化学園大学からで家庭科において6月2日（月）から20日（金）までの3週間、もう一人は山口県立大学からで福祉科において6月9日（月）から20日（金）の2週間の予定で実習を行いました。

2人とも大変熱心に実習に取り組みました。朝の挨拶指導から、授業参観、授業、放課後の教材研究と素晴らしい実習態度でした。私たち教職員にもよい刺激となりました。実習を終えて、これまで以上に教員になりたい気持ちが高まったと感想を述べてくれました。教員志願者が減少する中、教職の魅力を改めて感じることができ、嬉しく思うとともに、エールを送りたい気持ちです。

いい本は人生を豊かにしてくれる

2025年の本屋大賞1位を獲得した本です。「カフネ」とは、ポルトガル語で「愛する人の髪にそっと指をとおす仕草」を意味するようです。その言葉を冠した家事代行サービス所属の女性が重要な役割をしますが、彼女が作る食事をおとして食の意義についても考えさせられます。



『カフネ』 安部暁子 著 講談社

離婚した国家公務員の姉が、突然亡くなった弟の遺言書の履行に関わり物語が始まります。弟が付き合っていた彼女と姉の関わりによって物語が展開していきます。登場人物が、それぞれに重いものを抱えていて、人生を考えさせられます。人にありのままを認められることの重要さや、人それぞれに「つらさ」を背負い必死で生きている姿への共感と、人生の難しさを感じます。